

事業所名		たんぽぽの家				支援プログラム（東大阪市提出用）		作成日		令和7	年	3	月	5	日
法人（事業所）理念		1人1人は、唯一無二の存在であり、そのままで最高に価値のある存在です。我慢や遠慮がなく、ありのままの自分でやりたいことに挑戦できる地域環境。「すみません」や「ごめんなさい」を「ありがとう」や「うれしい」に変換する。 地域の中で当たり前のように生活できる力を育み、笑顔の花を咲かせたい！！お母さんの笑顔を増やしたい！お父さんの笑顔を増やしたい！職員の笑顔を増やしたい！ひとりひとりが豊かな生活を実現できるように 私たちは地域に根差した活動に努めて参ります。													
支援方針		支援者は、指示語や否定語（直接的）は使わずに間接的な言葉掛けで、自分で考えて行動できるようにヒントのみを与えます。 そして、答えが出るまでじっくり待ち、一生懸命考えて出した答えを褒めて認めます。 子どもたちが社会に出てから困らないように、しっかり自分の意思で生きていけるように、自分の意見が言えるように、遊びの中で楽しみながら力を育てていきます。													
営業時間		9時		30分から		18時		30分まで		送迎実施の有無		あり			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	バイタルチェック及び全身状態の把握を行い、異常の早期発見や対応を行います。意思表示が困難な児に対しては障害の特性や発達の過程や特性を考慮しきめ細やかな観察・対応を行っています。基本的な生活リズムの安定を図ります。身のまわりの整理整頓や食事・排泄等、基本的生活スキルの獲得できるように支援します。													
	運動・感覚	遊びや活動を通して日常生活に必要な姿勢保持や上肢・下肢の運動や動作の改善及び習得、身体能力の向上を図ります。また、身体を動かす活動を取り入れていき体力や体調を崩しにくい身体作りなど合わせて目指し支援します。児が無理なく行えるように観察し見守ります。													
	認知・行動	遊びや活動を通して視覚、聴覚、触覚の感覚を活用して必要な情報を収集して認知機能の発達を促していきます。コグトレ等用いて認知トレーニングも行なって支援します。また、児の興味のある物を探り、自発的に行動できるようにします。													
	言語コミュニケーション	学校やご家庭との連携を図り、個々に合った言葉、身振り手振り、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションを用いて相互理解を図っていきます。また、場面に応じた表情や発語から児の気持ちを汲み取り、共有・共感することで共同注意などのコミュニケーション能力の向上に繋がっていきます。													
	人間関係社会性	遊びや活動を通してアタッチメントの形成を図り、情緒が安定することで安心して過ごせるように支援します。職員が集団遊びの中に誘い集団への参加の仕方やルールを学び社会性を育んでいきます。また、その中で気持ちや情動の調整ができるように支援します。													
家族支援		送迎時に近況報告の共有を行うことで、より良い支援に繋がっていきけるように心掛けています。たんぽぽの様子を適時伝えることでたんぽぽの様子が明確にわかるようにします。保護者から相談ごとがあれば、解決が出来るようにしています。						移行支援		主に高校卒業後の進路について、学校・相談事業所との連携を行い、児のライフステージの変化に合わせた支援を行っています。					
地域支援・地域連携		学校やご家庭と定期的な面談やカンファレンスを実地し、情報共有を行います。地域参加の機会があれば、協力を行なってます。						職員の質の向上		職員研修(月1回実地)、外部研修・勉強会					
主な行事等		令和7年行事予定 1月：初詣 2月：節分 3月：ひなまつり 4月：お花見 5月：こいのぼり見学 6月：紫陽花見学 7月：七夕まつり 8月：プール遊び 9月：運動会 10月：ハロウィン 11月：紅葉狩り 12月クリスマス会													

【公表方法】
☐ インターネットに掲載（URL： <https://tanpoponoie.co.jp/> ）
☐ その他（具体的な方法： ）
《注意》
「事業所における基本情報」及び「支援内容」が網羅されていれば、独自様式を使用しても差し支えありませんが、本市に提出される際には【公表方法】をお示しください。